

(様式1)

自己評価票

作成日 平成 26年 4月 1日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870102647		
法人名	株式会社トゥルーケア		
事業所名	グループホームメロン	ユニット名	3丁目
所在地	〒311-1113 茨城県水戸市平戸町舟渡380-1		
自己評価作成日	平成26年4月1日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成 年 月 日	評価確定日	平成 年 月 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none">・今を生きる入居者さまに充実した時間を過ごしていただきたいと、常に思い、笑顔ある生活を支援していきます。・入居者様の多くが望んでいること「それは話がしたい」「話を聞いてほしい」ことだと痛感する毎日、忙しい時でも、必ず手を止め耳を傾けています。・入居者様の体調の変化に気をつけ、健康維持に努めていきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	
			実施状況	
I 理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの個性を尊重し、利用中心の支援。 利用者の個々の自由を妨げる事のない接し方。 家族、地域との関わりを大切にし、地域に密着したホームを目指す。 	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> 地域のボランティアの方による出し物や、ごみ拾いなどに参加しています。 近隣の施設や学校の祭りなどに参加しています。 散歩の際に近所の方と挨拶、会話をしています。 	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアをやりたい方には、喜んで受け入れをしています。 地域の行事に参加し、会話の中で認知症について話をし、理解して頂けるようにしています。 	
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> 2ヶ月に1回、運営推進委員会を開催し、市職員、自治会長、近隣の施設の方、地域窓口センターの方と意見の交換、行事の報告をしています。 	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進委員会の開催時に、御意見を頂いています。又、介護保険の手続きで不明な点などに、御相談させて頂いています。 	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> 勉強会、研修を行い、身体拘束について学び、絶対に拘束しないことを目標にしています。危険行為を正しく理解し、職員と話し合いをして拘束をしない援助をしています。 	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 勉強会、研修を行い、虐待について正しく理解し、虐待の防止に努めています。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・勉強会、研修を行い、これから学んで行きたい。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・理解、納得できるまで十分説明し、疑問、質問にきちんと答え、署名、捺印をいただいています。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・利用者様には日常の会話にて、御家族様には来荘時、電話にて意見や要望を聞いております。そのご意見を職員に周知し、運営に反映させております。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・職員集会、カンファレンスなどで、意見交換をしています。又、ホーム長会議で現場職員、利用者様、ご家族の意見を本部、代表者に連絡しています。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・管理者が各職員の意見、相談を受け話し合う機会を設けております。管理者でも難しい相談であれば、ホーム長、本部の者と多数で、個別にじっくりと話し合い解決できるようにしています。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・会社全体の研修、管理者研修、ケアマネ研修、他施設の研修など内外研修にさんかしています。又、個々で興味のある福祉協議会などの研修にも参加しています。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	・他事業所の運営推進委員会の参加、出し物、祭り、勉強会などに参加しています。又、病院関係者、他施設の方をお招きし、勉強会を開催しています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・事前調査により、ご本人の要望、不安を聴き取り、安心して暮らせるよう関係づくりに努めている。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・御家族様からの御要望、心配事を聴き取り安心して利用者様が暮らせるよう、取り組んで行きます。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・グループホームでの生活が適しているか、他のサービスが適しているか、関係機関、御家族と相談をし、ご本人に適したサービスができるよう努めていきます。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・暮らしを共にし、支えあう家族のような関係になれるよう努めていきます。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・御家族との絆を大切にし、共にご本人を支えていく関係作りに努めていきます。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・御家族、御友人に面会に来て頂くよう働きかけ、関係継続の支援に努めていきます。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・レクリエーション等を通し、利用者様同志が関わり、支えあえるよう努めていきます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・契約が終了されても、御家族様が相談されてきた場合は、相談に聴き支援していきます。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・ご本人の希望を聞き、暮らし易いように努めています。困難な場合は、ケアカンファレンスを開催し、話し合いをしています。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・いままでの暮らし方を職員が把握し、暮らし易いよう心がけをしております。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・ご本人の過ごし方や身体状況把握。体調、気分配慮して安心して過ごせるようにしています。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・ご本人、御家族の意見、思いを聴き、カンファレンスを開催し、職員と話し合いをして、介護計画の作成をしています。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・日々の生活の中で気がついたこと、介護計画の実践、結果を記録し、その都度、カンファレンスを開催し、介護計画の見直しをしています。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・ご本人の様子や話をし、又、御家族とも話す機会を多くし、その時々変わるニーズに柔軟に対応出来るようここがけています。ニーズが変化した時には、カンファレンスの開催をし、御本人に合ったサービスができるよう話し合いを行っています。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・体験学習の学生やボランティアの方との交流を深めたり、散歩の際に近隣の方と挨拶、会話をしています。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・月に2回、提携医療機関の先生により訪問診療にて、健康管理を行っております。その際に、健康状態の報告、相談をし、症状によって専門医療が受けられるようにしています。又、ご家族対応にて、かかりつけ医の定期受診をお願いしています。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・週に1回、訪問看護サービスにより看護師による健康管理を行っています。その際に、健康状態の報告、相談をしています。万が一の事故、急変時には指導、アドバイスを受けております。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・入院時にはサマリーを作成し、医療機関との情報交換をしています。入院中には、電話連絡、直接様子を伺い、情報の交換、退院向けの相談をしています。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・ご本人、ご家族の希望を伺い、体調に変化があった場合は病院と連携しながら、ご希望に添えるよう対応していきます。終末期には、医師、看護師、ご家族との話し合いを十分に行います。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・急変時には、状態が悪い時には緊急搬送をし、判断が難しい時には、訪問看護師に連絡し指示をもらいます。急変時の対応のやり方、怪我への対応について、勉強会をしています。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・昼間、夜間を想定しての避難訓練を毎月実施しています。消防署立会いのもと年に1回消防訓練をしています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	
			実施状況	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・ご本人の性格に合わせた言葉かけ、声の大きさ、スピードに気をつけて対応しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・ご本人で自己決定出来るような声掛け、工夫をしています。	
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・ご本人の訴えに耳を傾け、職員都合にならないよう、一人ひとりのペースに合わせ希望にそった1日を過ごせるよう心掛けています。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・ご本人のお気に入りの服をきる、訪問美容室を利用し、好きな髪形にすることができます。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・入居者様と一緒に食事をしながら会話をし、個人に合った準備や片付けができる支援をしています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・業者による献立の依頼をしている為、栄養管理はできている。病状により、減塩したり薬と飲み合わせの悪い食事を避けるなど、工夫しています。水分摂取の少ない方には、水分チェックを行い1日水分量の確認をしています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・毎食後、口腔ケアを行っております。ご自分で出来るところは行っていただき、仕上げ磨きは介助にてお手伝いします。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	・ご本人の排泄パターンを把握し、トイレでの排泄ができるよう支援しています。又、排泄まの自立に向け、できるところはご自分で見守りをし、大変な所はお手伝いします。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・水分摂取、適度な運動、食事、腹部マッサージなどを行い便秘予防に努めています。又、先生に相談し、強い便秘の際は内服管理を行っています。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	・入りたいときに入浴できるよう心掛けております。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・食後には軽眠して頂き、昼間は身体を動かす、日光浴をし、夜は良く休めるように心掛けております。不安で眠れないときは、お話をして安心して休めるように支援します。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・薬の効能、副作用を理解し、利用者の身体、心理状態を観察しています。異常があれば、先生、看護師に相談しています。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・個人の生活歴や趣味を把握し、ご本人に合った楽しみが持てるよう支援しています。ボランティア、職員による出し物を行い、楽しみのある日々が送れるよう支援しています。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・散歩、行事、ドライブなどを行い出来る限り外に出かけられるよう心掛けています。ご家族様にも協力して頂き、外食、外泊などをして頂けるよう働きかけをしています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>・ご自分で管理できる方はお金の所持をしていますが、認知症の重い方は所持していません。必要な時は、ご家族と連絡を取り一緒に買い物に出掛けられるよう援助しています。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>・電話をかけたいときには、すぐにかけるよう心がけをしています。事前にご家族様の都合の良い時間を聞いておき、電話がつながるよう配慮していきます。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・季節感のわかる掲示物、お花を飾ったりしています。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>・共用スペースでは、レクリエーションや体操、会話を楽しめるよう環境をつくり、お一人でも穏やかに過ごせるよう配慮しています。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・使い慣れた家具、食器などをお持ち頂き、なるべく御自宅に近い環境で過ごせるよう心掛けています。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>・居室扉に大きく名前、目印になるものをおき居室の場所がわかるように工夫しています。手すりがあり、段差のない建物になっています。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない